# Web打刻自動入力システム 基本設計書

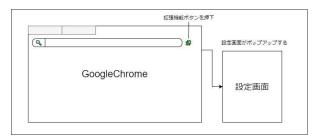
パーソル パナソニック HRパートナーズ株式会社 人材開発部 松本 秀一郎

### 1. 画面設計

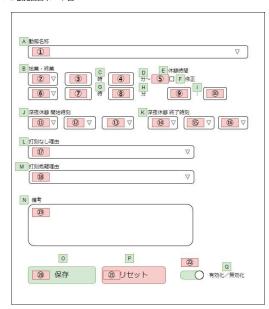
GoogleChromeの画面右上辺りには、パズルのピースのような拡張機能を呼び出すボタンが存在する。 そのボタンを押下した際に本システムの設定画面を表示させる。

設定画面は、ユーザが本システムに自動入力させたい値を入力し、設定を保存する画面である。 直感的に使用できるよう、実際の動務実績入力画面に基づいて作成する。

### 1-1. 画面遷移図



### 1-2. 設定画面イメージ図



### 1-3. 設定画面のHTMLタグと子要素

それぞれの要素は、HTMLのフォームタグ、ラベルタグから構成される。 下記に(1-2. 設定画面イメージ図)の丸数字とフォームタグを紐づけた表を示す。

### 1-3-1. ラベルタグ構成

項目	フォームタグの属性	ラベル名
Α	ラベル	勤務名称
В		始業·終業
С		時
D		分~
E		休憩時間
F		修正
G		時
Н		分
I		:
J		深夜休憩 開始時刻
K		深夜休憩 終了時刻
L		打刻無し理由
М		打刻乖離理由
N		備考
0		保存
Р		リセット
Q		有効化/無効化

				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
No	フォームタグの属性	フォームタグ子要素	入力可能文字数	入力が可能な文字
1	セレクトボックス	8.0H_09:00-18:00 欠勤8.0H		
		欠勤(労災)8.0H		
		不就労		
		半消化		
2	セレクトボックス	前日		
6	EDJINOJA	当日		
		翌日		
3	テキストボックス	-	2	0~24までの数字
4	テキストボックス	_	2	0~59までの数字
5	チェックボックス	_	_	0 000 00 00
	, _,,,,,,,,	_		
6	セレクトボックス	前日		
		当日		
		翌日		
7	テキストボックス	-	2	0~24までの数字
8	テキストボックス	-	2	0~59までの数字
9	テキストボックス	_	2	0~24までの数字
10	テキストボックス	-	2	0~59までの数字
111	セレクトボックス	前日		
		当日		
		翌日		
	1			
12	セレクトボックス	0		
-		1		
	1	2		
		3		
		:(省略)		
		22		
		23		
13	セレクトボックス	0		
		5		
		10		
		:(省略)		
		50		
		55		
14)	セレクトボックス	前日		
9		当日		
		翌日		
(15)	セレクトボックス	0		
		1		
		2	1	
		3		
		:(省略)		
		22		
		23		
	1			
(16)	セレクトボックス	0		
		5		
	1	10		
	1	:(省略)		
	1	50		
		55		
17)	セレクトボックス	[選択]		
		出勤時打刻漏れ	1	
		退勤時打刻漏れ		
		出・退勤時打刻漏れ		
		直行・直帰		
	1	直行		
	1	直帰		
		出張		
	1	システム停止時間		
18)	セレクトボックス	[選択]		
Ĭ		私用·自己啓発等		
	1	理由を備考欄に記載		
	1	打刻誤り		
19	テキストエリア	-	上限なし	全ての文字
20	ボタン	_	-12.00	- 500
21)	ボタン	_		
22	チェックボックス	-		
		_		
	1	1		

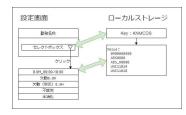
### 2. データ設計

### 2-1. ローカルストレージ

本システムは「自動入力値の設定保存機能」という、ユーザが入力した値を保存しておく機能を持つ。 ユーザが入力した値を保存しておくだっかに、WebStorage AP(I(LocalStorage)を使用する。 ローカルストレージは以下のように、"key"と "value"の組み合わせでデータをプラウザへ保存することができる。



### 2-2. ローカルストレージとDOM要素の継づきイメージ園



### 2-3. ローカルストレージのデータ構造

フォームタグの異性	Key	フォームタグ子要素	Value
セレクトボックス	KNMCDS	8.0H 09:00-18:00	090006048
セレクトボックス	Turino Do		ABS0800
			ABS_R0800
			UNI11014
			UNI11018
セレクトボックス	KNMTMRNGSTD		-1
			0
		翌日	1
テキストボックス	KNMTMRNGSTH		ユーザの入力値
テキストボックス	KNMTMRNGSTM		ユーザの入力値
	RTTLCHKBX56		0
			1
カレクトボックフ	KNIMTMENIGETE	前日	-1
ED JIM JJA	ICIVIII I MITURGETO		0
			1
	I/AIRATTA FOLLOFTIL	並口	ユーザの入力値
			ユーザの入力値
			ユーザの入力値
			ユーザの入力値
セレクトボックス	GI_TIME50_Seq0D		-1
1		当日	0
1	1	翌日	1
1	1	-	999
セレクトボックス	GI TIMESO Sanou	0	0
2271-11-77	GL TIMESU_SeqUE		1
			2
			3
1	1		+
			22
		23	23
			999
セレクトボックス	GI_TIME50_Seq0M	0	0
			5
			10
			10
			50
		55	55
		-	999
セレクトボックス	GI_TIME51_Seq0D	前日	-1
		当日	0
		翌日	1
			999
カレクトボックス	GI TIMEST SecOH	0	0
207111777	GL TIMEOT GOODST		1
			2
		3	3
		:(省略)	3
		: (省略)	3 22
		:(省略)	3 22 23
		: (省略) 22 23 	22 23 999
セレクトボックス	GI_TIME51_Seq0M	: (省略)	3 22 23
セレクトボックス	GI_TIME51_Seq0M	: (省略) 22 23 	22 23 999
セレクトボックス	GI_TIME51_Seq0M	: (省略) 22 23  0	22 23 999 0
セレクトボックス	GLTIME51_Seq0M	: (省略) 22 23  0 5 10	3 22 23 999 0 5
セレクトボックス	GLTIME51_Seq0M	:(省略) 22 23 — 0 5 10 :(省略)	22 23 999 0 5 10
セレクトボックス	GLTIME51_Seq0M	: (省略) 22 23 — 0 5 10 : (省略) 5 5 5 5 5 7 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	3 22 23 999 0 5 10
セレクトボックス	GLTIME51_Seq0M	:(省略) 22 23 — 0 5 10 :(省略)	3 22 23 999 0 5 10 50 55
	·	:(省略) 22 23 ————————————————————————————————	3 22 23 999 0 5 5 10 55 999
セレクトボックス	GLTIME51_Seq0M	: (省略) 22 23 — 0 5 10 : (省略) 50 55 — (選択)	3 22 23 999 0 5 5 10 55 5999 DEFAULT.CODE
	·	:(省略) 22 23  0 5 5 10 :(省略) 55  [選択]- 出勤時打刻編れ	3 22 22 23 999 0 0 5 5 10 5 5 5 5 999 — DEFAULT_CODE 1000
	·	: (省略) 22 23  0 5 5 10 : (省略) 50 55  「選択」 出動時打刻漏れ 退動時打刻漏れ	3 22 22 23 999 0 0 5 5 110 55 55 999 DEFAULT_CODE 1000 1001 1001
	·	:(名略) 22 23 0 5 5 10 :(名略) 55 5	3 22 23 999 0 5 5 100 55 999 DEFAULT_CODE 1000 10001 1001
	·	: (省略) 22 23  0 5 5 10 : (省略) 50 55  「選択」 出動時打刻漏れ 退動時打刻漏れ	3 22 22 23 999 0 0 5 5 110 55 55 999 DEFAULT_CODE 1000 1001 1001
	·	:(名略) 22 23 0 5 5 10 :(名略) 55 5	3 22 23 999 0 5 5 100 55 999 DEFAULT_CODE 1000 10001 1001
	·	( 4 新的 ) 22 23	3  22 23 999 0 5 5 10  50  DEFAULT.CODE 1000 1001 1001 1002
	·	: (金略) 22 23 0 5 5 11(金略) 5 5 5	22 23 999 0 5 5 10 55 55 55 999 DEFAULT_CODE 1000 1000 1000 1000 1000
	·	(衛略) 22 23	3  22 23 999 0 5 5 10  50 55 50 1000 1000 1000 1
セレクトボックス	SGYCDIS	- (本略) 22 23 - 0 0 5 10 1 (名略) 55 - (選択) 出勤時打刻離れ 退勤時打刻離れ 退力時打損和 直行 直行 直行 正代 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	22 23 999 0 5 5 10 55 999 1000 1001 1001 1002 1003 1004 1005
	·	( 4 報節 ) 22 23	3 22 23 999 0 0 5 5 100 50 50 50 50 50 50 1000 100
セレクトボックス	SGYCDIS	(編輯) 22 23	3 22 23 999 0 0 5 5 10 0 5 5 10 0 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
セレクトボックス	SGYCDIS	( 4 報節 ) 22 23	3 22 23 999 0 0 5 5 100 50 50 50 50 50 50 1000 100
セレクトボックス	SGYCDIS	(編輯) 22 23	3 22 23 999 0 0 5 5 10 0 5 5 10 0 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
セレクトボックス	SGYCD2S	(本略)   (本略)   (本略)   (本 を	3 22 23 999 0 0 5 5 10 0 5 5 10 0 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
セレクトボックス セレクトボックス テキストエリア	SGYCDIS	(本略)   (本略)   (本略)   (本 を	3 22 23 999 0 0 5 5 10 0 5 5 5 5 5 100 1000 100
セレクトボックス セレクトボックス テキストエリア ボラン	SGYCD2S	(本略)   (本略)   (本略)   (本 を	3 22 23 999 0 0 5 5 10 0 5 5 10 0 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
セレクトボックス セレクトボックス テキストエリア	SGYCD2S	(編略)  22 23	3 22 23 999 0 0 5 5 10 0 5 5 10 0 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
	セレクトボックス テキストボックス テキストボックス テキストボックス セレクトボックス テキストボックス テキストボックス テキストボックス ナントボックス セレクトボックス セレクトボックス	セレクトボックス KNMTMRNGSTD テキストボックス KNMTMRNGSTD テキストボックス RMTMRNGSTM テキストボックス RTTLCHKBX56 セレクトボックス KNMTMRNGETD テキストボックス RMTMRNGETD テキストボックス RTTLVAL58H テキストボックス RTTLVAL58H セレクトボックス GLTIME50_Seq0D	大田島の日   大田島の日   大田島の日   大田島の日   大田(労政)80日   不能労   平邦化   田田   田田   田田   田田   田田   田田   田田

### 2-4. ローカルストレージを使った実装方法

WebStorage APIのドキュメントによると、 本システムの「設定圏面」と「動務実積入力圏面」で使用されるローカルストレージは別物であることがわかる。

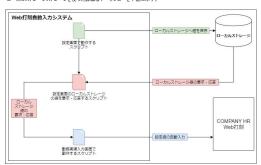
つまり、「設定画面で動作するスクリプト」と「勤務実績入力画面で動作するスクリプト」では扱えるローカルストレージの値が異なる。

そのため、それぞれの画面でローカルストレージのデータをやり取りするために、 下記3つのスクリプトに機能を分割して実装することとする。

- 設定画面で動作するスクリプト
   設定画面のローカルストレージの要求・応答をするスクリプト
   勤務実績入力画面で動作するスクリプト

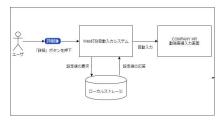
### 2-5. ローカルストレージを使ったデータフロー

ローカルストレージストレージを使った詳細なデータフローを下記に示す。



本システムでは、要件定義書によって4つの機能要件が定義されている。 下記に各種機能要件の詳細を示す。

### 3-1. 勤意自勤入力機能

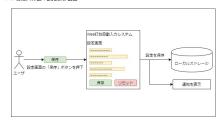


**処理内容** ローカルストレージに設定されている値を「COMPANYHR勤怠入力画面」のそれぞれのフォームへ自動的に入力する。

<b>必要なローカルストレージキー</b>				
KNMCDS	KNMTMRNGETD	GI_TIME50_Seq0D	GI_TIME51_Seq0M	
KNMTMRNGSTD	KNMTMRNGETH	GI_TIME50_Seq0H	SGYCD1S	
KNMTMRNGSTH	KNMTMRNGETM	GI_TIME50_Seq0M	SGYCD2S	
KNMTMRNGSTM	RTTLVAL56H	GI_TIME51_Seq0D	JSKMM	
RTTLCHKBX56	RTTLVAL56M	GI_TIME51_Seq0H	ENABLEDISABLE	

ユーザ操作 「動務来続入力画面」へ遷移するための「詳細ボタン」を押下する。

### 3-2. 自動入力値の設定保存機能

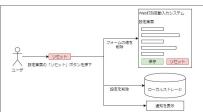


処理内容 ユーザが管フォームに入力した値をローカルストレージへ保存する。 ユーザが管フました。 ユーザが管交響画面を起動した時、ローカルストレージに保存されている設定があれば、その設定を復元する 保存に成功したとき、通知を表示する。

必要なローカルストレージキー				
KNMCDS	KNMTMRNGETD	GI_TIME50_Seq0D	GI_TIME51_Seq0M	
KNMTMRNGSTD	KNMTMRNGETH	GI_TIME50_Seq0H	SGYCD1S	
KNMTMRNGSTH	KNMTMRNGETM	GI_TIME50_Seq0M	SGYCD2S	
KNMTMRNGSTM	RTTLVAL56H	GI_TIME51_Seq0D	JSKMM	
RTTLCHKBX56	RTTLVAL56M	GI_TIME51_Seq0H		

# ユーザ操作 「設定園面」下部の「保存」ボタンを押下する。

### 3-3. 自動入力値の設定クリア機能

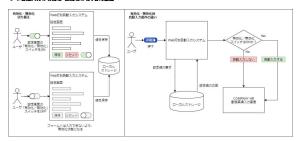


処理内容 ユーザが各フォームに入力した値をすべて削除する。 ローカルストレージに保存されている設定があれば、その設定も削除する。 保存に成功したとき、通知を表示する。

必要なローカルストレージキー				
KNMCDS	KNMTMRNGETD	GI_TIME50_Seq0D	GI_TIME51_Seq0M	
KNMTMRNGSTD	KNMTMRNGETH	GI_TIME50_Seq0H	SGYCD1S	
KNMTMRNGSTH	KNMTMRNGETM	GI_TIME50_Seq0M	SGYCD2S	
KNMTMRNGSTM	RTTLVAL56H	GI_TIME51_Seq0D	JSKMM	
RTTLCHKBX56	RTTLVAL56M	GI_TIME51_Seq0H		

ユーザ操作 「設定画面」下部の「リセット」ボタンを押下する。

### 3-4. 自動入力の有効化・無効化の切り替え機能



風面内轄
 自助入力の有効化スイッテがONのとき、「動怠自動入力機能」は有効。
 自動入力の有効化スイッテがOFFのとき、「動怠自動入力機能」は無効。
 保存に成功したとき、通知を表示する。

# 必要なローカルストレージキー ENABLEDISABLE

ユーザ操作 「設定画面」下部の有効化/無効化スイッチを切り替える。